

天神島がテーマの特別展示 (博物館本館)

1966

年開園の天神島臨海自然教育園は今年、開園 50 周年を迎えました。博物館本館では、これを記念した特別展



「天神島大冒険! ~海とくらす生き物たちの楽園~」を9月25日(日)まで開催しています。この展示は、天神島の歴史や自然、博物館学芸員がお勧めする天神島のみどころなどをわかりやすく紹介しています。特別展の一部は10月29日(土)~11月13日(日)の期間、天神島ビジターセンター講座室において巡回展として公開の予定で、こちらは本物の海をバックに展示をご覧ください。

シダのなかま (馬堀自然教育園)

夏から秋は、馬堀自然教育園の多くのシダ植物の繁殖の季節です。園内には20種以上のシダ植物がみられますが、そのほとんどが春から夏に葉を茂らせて胞子を成熟させる夏緑性です。この時期、園内の林床を覆うアスカイノデや西側斜面に優占するベニシダ、トウゴクシダ



アスカイノデ



胞子のう穂を伸ばしたオオハナワラビ

の葉の裏には丸い粒がたくさん見られます。これは、胞子が入った袋(胞子のう)



ベニシダ(右は葉裏の胞子のう群)

が集まったもの(胞子のう群またはソーラス)です。

一方、秋から冬に緑色の葉を開いて胞子をつける冬緑性のシダも見られます。寒くなり、観察できる植物が少なくなる頃には、オオハナワラビがまるで花を咲かせるように胞子のう穂を伸ばす姿を見ることができます。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.9 No. 2

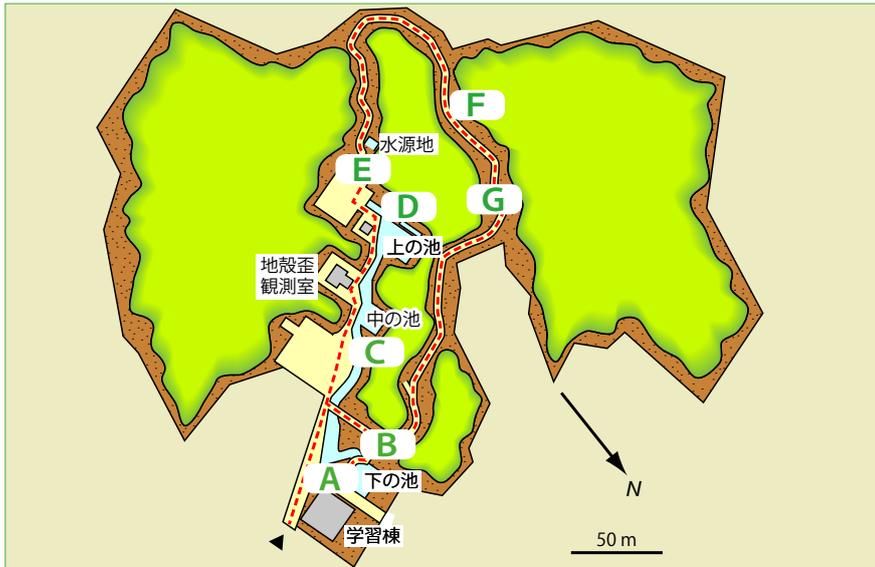
(2016年夏号)

2016年8月5日発行
横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (8~11月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



写真下の括弧内には撮影した月と場所(地図中のポイントと対応)を示しています。観察の目安にしてください。



イヌトウバナ (9月, A)



キミノセンリョウ (11月, B)



ジョロウグモのオス(左)とメス(右) (10月, B)



イヌビワの果のう(左)とイヌビワコバチのメス(右, 矢印) (9月, A)



ヒバカリ (10月, B)



ミスジマイマイの幼貝 (9月, B)



ツチグリの一種 (10月, B)



キアシナガバチ (8月, C)



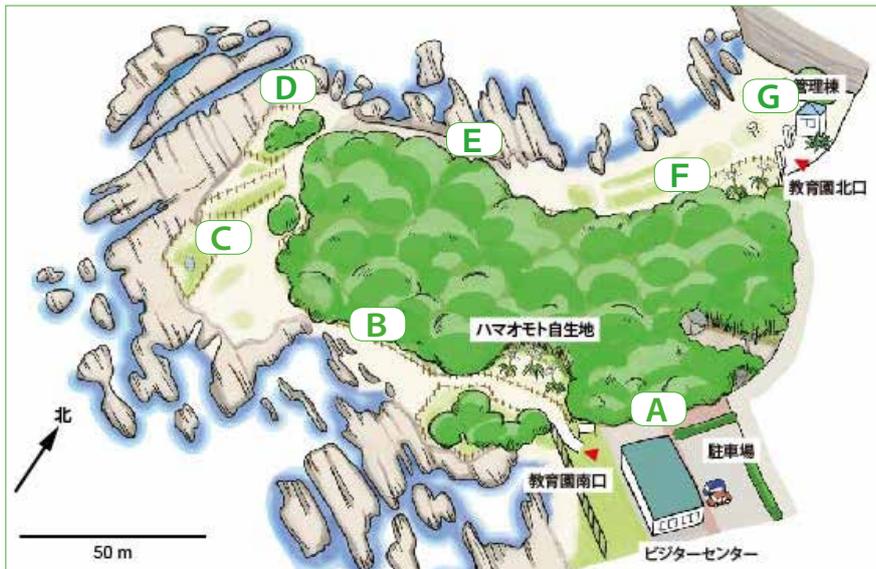
ツブキ (11月, D)



オニドコロ (9月, C)

天神島のみどころ (8~11月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



アオドウガネ (8月, F)



ノブドウに生じた虫こぶのノブドウミフクレフシ (左, 矢印) と内部のノブドウミタマバエの蛹 (中央) および蛹~羽化した成虫 (右) (8月, F)



コシダカウニ (11月, E)



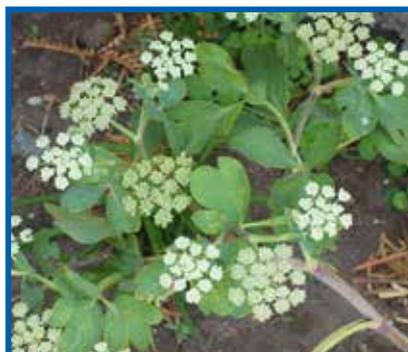
アコウ (9月, G)



イソギク (11月, A)



モンキチョウの卵 (9月, C)



ハマゼリ (8月, C)



ジボガウミウシ (10月, E)



ハマカンゾウ (8月, C)

自然教育園の行事案内

今年度の行事についての詳細はリーフレット等をご覧ください

天神島ガイドツアー

天神島臨海自然教育園では、毎月第4日曜日に園内の自然を案内するガイドツアーを開催しています。周囲の景観やそのときの生物の解説を行っています。参加費は一人50円、時間は4～9月は10:30～11:30、10～3月は13:00～14:00です。お気軽にご参加ください。



ガイドツアーの様子



ハマカンゾウの種子

自然教育園のできごと

天神島の赤潮と夜光虫

5月末、天神島の広い範囲で赤潮が観測されました。朝には笠島と天神島の間が全体的に赤みを帯びていたのですが、次第に天神島北口側の磯まわりの海面が濃い赤になりました。



赤潮の様子

赤潮とは、海水の富栄養化や雨による塩分濃度の低下により、植物性プランクトンである夜光虫が大量発生して

起こるもので、右の写真は採取した赤潮をホルマリンで固定し、夜光虫を実体顕微鏡で撮影したものです。



夜光虫

夜、波や船の動きなどに合わせて美しく光ることで知られる夜光虫は、じつは赤潮の正体でもあるのです。

数十年に一度の開花！リュウゼツラン

天神島の北口管理棟前に植栽されているリュウゼツランが開花しました。今年、1株が茎を伸ばしつぼみをつけ、7月に花が咲きました。茎は高さ4m以上、なかなかの存在感ですが、花を咲かせるとその株は枯れてしまいます。

リュウゼツランはメキシコ原産で、近縁種にはテキーラの原料になるものもあります。英名はセンチュリープランツといい、100年に一度しか花が咲かないことに由来しますが、熱帯では約10年に一度、日本では30～50年に一度花を咲かせるそうです。

天神島には10株ほどあり、これまで6～7年おき

に代わるが
わる開花が
見られました。
ロマン
のある英名
を持つ黄色
い花は、青
空を背景に
潮風に揺れていました。



左から、つぼみ(6月17日)と花(7月24日)、下部の花の拡大(7月27日)

馬堀自然教育園の樹名板等を新しくしました

馬堀自然教育園では、春から夏にかけて園内の樹名板を新しく追加、更新しました。園路沿いに見られる約50本の樹木について、種名と花や果実が見られる時期を載せています。園内を散策しながら植物の名前も知っていただくことができます。

園内の案内看板も明るい色調のものに更新しました。学習棟をはじめ水源地や広場といった園内のスポットを見つけやすくなりました。



新しくした樹名板 (上:マテバシイ,下:イヌビワ)



中の池の看板の更新(中央:新,左:旧)と水辺とは色を区別した学習棟の看板(右)

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀町4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>



博物館ホームページ